

令和7年度春～夏学期チューターの募集について

業 務 内 容

(1) 日本語日本文化教育センター(箕面キャンパス)で学ぶ留学生に対するチュートリアル(※)の実施。

※チュートリアル・・・担当留学生と定期的に会い(週一回程度)、学習補助や生活上の助言等をおこなう。

(2) 毎月末、留学生の担当教員に対し、実施したチュートリアルの内容や留学生の現況を報告。(箕面キャンパスにある教員の研究室まで、赴くことが必要となります。)

(3) 毎月末、日本語日本文化教育センターの事務室に実施報告書を提出。

チュートリアル対象留学生

- ① Uプログラム学生(大学入学前予備教育課程に在籍する国費学部留学生)
- ② Jプログラム学生(日本語・日本文化研修留学生)
- ③ Mプログラム学生(メイプル・プログラムで研修を受ける交換留学生)
- ④ Oプログラム学生(タイ国マヒドン大学からの短期交換留学生)

詳細は3頁目をご覧ください。なお、対象留学生への割り振りは当方で行いますので、担当したい留学生種別を選択することはできません。

実 施 場 所

原則として箕面キャンパス(担当する留学生と相談のうえ実施場所の変更可)

雇 用 期 間

令和7年5月～令和7年8月

(但し、Uプログラム学生の担当になった場合は令和7年9月まで)

※期間内に15時間実施(週1回程度、1回1時間程度)

※留学生とチューター双方の都合が合えば土・日・祝日においても実施可。

募 集 人 員

70名程度

応 募 資 格

大学院生、または学部2～6年生(令和7年4月時点)

日本語母語話者(日本語と日本の社会・習慣等に申し分なく通じている者)が望ましい。

給 与

1,114円/時間

応募方法

- (1) 所定の応募用紙（EXCEL ファイル）を本センターHP もしくは KOAN 掲示板からダウンロード。
- (2) 以下を E-Mail で添付送信。送付先アドレス：cjlc@office.osaka-u.ac.jp
 - ① 必要事項を入力した応募用紙
 - ② 顔写真画像データ（※応募用紙の写真貼付欄には貼り付けず別ファイルとして送信ください。
当方でサイズ調整をして貼り付けます）添付ファイルにはパスワードを設定してください。パスワードは別の E-Mail でお知らせください。
- (3) 大阪大学内（生協を除く）での勤務がある方は応募用紙の職歴欄に必ずご記入下さい。

採用方法

- (1) 面接を行い、チューター候補者を選定し、合格者にはその旨をメールで通知します。ただし、過去に日本語日本文化教育センターでチューターを担当したことのある方につきましては面接を免除します。
- (2) 新規留学生が4月初旬に渡日した後に割り振りをを行いますので、本採用の通知は4月中旬以降になる予定です。留学生数の変動等により、採用に至らないことがありますのであらかじめご承知おきください。ただし、今回採用されなかった方が令和7年度秋～冬学期のチューターを希望された場合は再度の面接は実施せず優先的に採用します。

応募締切

一次応募期限：令和7年1月9日（木）

二次応募期限：令和7年3月13日（木）

面接予定日

オンライン(Zoom)により面接を実施します。

一次応募者：1月20日（月）～1月24日（金）の期間内で設定

二次応募者：3月24日（月）～3月28日（金）の期間内で設定

問い合わせ先

日本語日本文化教育センター係（箕面キャンパス7階）

窓口受付時間 10：00～11：30 12：30～16：30

E-mail：cjlc@office.osaka-u.ac.jp

住所：〒562-8678 箕面市船場東 3-5-10

TEL:072-730-5071

ホームページ <https://www.CJLC.osaka-u.ac.jp/japanese/>



チュートリアル対象留学生について

① Uプログラム学生（大学入学前予備教育課程に在籍する国費学部留学生）

日本語日本文化教育センターの大学入学前予備教育課程に在籍する学部留学生で、課程修了後、日本の国立大学の理系学部（工学部、理学部、薬学部、医学部、農学部など）に1年生として入学することになるため、4月からの1年間で、学部での修学に堪えうる日本語運用能力を身につけることが必要とされます。4月時点の日本語レベルは、未習から上級まで様々です。

チューターは、留学生が履修する授業科目（主として日本語科目）に関する学習補助を行うことが中心となります。なお、学部留学生の多くは、月曜 1,2 限、火曜 1,2,3,4 限、水曜 1,2,3,4 限、木曜 1,2,3,4 限、金曜 1,2,3,4 限に授業があるため、それ以外の時間帯でチュートリアルをしてもらうこととなります。また、試験期間前には集中して学習補助を行わなければならないこともあります。

② Jプログラム学生（国費 日本語・日本文化研修留学生）

母国の大学では日本研究学科に在籍する留学生で、自らの日本語運用能力及び日本文化理解の向上のため本センターで約1年間の教育を受けます。入学時期は毎年10月になります。もともと、日本語や日本文化を主専攻とする学生で、すでに来日して数ヶ月経ちますので、多くの学生は、上級レベルの日本語運用能力があります。

チューターは、留学生が履修する科目（日本語科目や日本文化科目）に関する学習補助の他、図書館などでの文献調査や、資料の読解、論文・レポートの添削、発表会の準備の手伝いなどが期待されます。

③ Mプログラム学生（メイプル・プログラムで研修を受ける交換留学生）

大阪大学短期留学日本語日本文化特別プログラム（メイプル・プログラム）で学ぶ、本学の学術交流協定校から来た交換留学生です。10月に入学した時点での日本語レベルは、初級修了から上級まで様々です。

チューターは、留学生が履修する授業科目（日本語科目や日本語文化科目）に関する学習補助の他、留学生の学生生活上における助言を行うこととなります。

④ Oプログラム学生（タイ国マヒドン大学からの短期交換留学生）

大阪大学 ASEAN キャンパス・パートナー校であるマヒドン大学から来た交換留学生で、4月～8月まで本センターで日本語・日本文化を学びます。4月時点での日本語レベルは中級前半以上です。

チューターは、留学生が履修する授業科目（日本語科目や日本文化科目）に関する学習補助の他、留学生の学生生活上における助言を行うこととなります。短い留学期間ですので、新しい生活・学習環境に早く馴染めるように効率よくチュートリアルを実施することも求められます。